
全国学童保育指導員学校（北海道会場）

～子どもの生活を保護者と伝え合う～

一般社団法人丘珠わんぱくクラブ 指導員 大沼友子

1 保護者会活動を楽しみながらつながろう！

保護者会って？はじめましては緊張するけど慣れたら楽しい！あれもこれもやっていたい。参加したい。あれっ？子どもより大人の方が楽しんじゃってる？

2 保護者と指導員の協働を目指そう！

指導員と保護者が一緒に！手と手を取り合って！とは言っても現実はなかなか難しい・・・。

クラブの保育活動だけではなく、行政（国・札幌市）に保護者や指導員の声を届け、学童保育への理解を共感を伝えていくことも必要なことです。

3 楽しい保護者会活動を工夫しよう！

コロナ禍で希薄になってしまった保護者同士の「顔の見える」関係を築き、保護者同士の仲間の輪を広げることができるのが民間の学童保育の魅力の一つです。「楽しい」保護者会を工夫して取り組むには。

- ・保護者同士や指導員が保育や子育てについて交流し、語り合える保護者会にしよう。
- ・誰もが参加できるように保護者会活動を工夫し活発にしていこう。
- ・一人じゃないよ。みんなで話そう！みんなで出かけよう！

4 地域との連携を大切に結びつきを深めよう！

学校・町内会等の地域との結びつきを深めよう。

保護者も子どもたちも地域の中で生活している地域住民です。学校や地域との良好な関係はクラブの維持、存続には欠かすことができません。学校や地域にクラブの存在を伝え、理解を深めてもらい、少しずつつながりを深めていきましょう。地域や学校との連携が深まると保育の質や高さや子どもの育ちが伝わりクラブの存在が口コミという形で広がり、登録児童拡大にもつながるかもしれません。

最後に・・・

子どもたちの笑顔輝く明るい未来のために、保護者と指導員みんなで作るのが学童保育。「子どもたちによりよい楽しい居場所」「子どもも保護者も安心して帰って来られる居場所」として、保護者と指導員で運営に関わることを共有し協議することを大切に。クラブを支えているのは、保護者と指導員です。子どもたちを真ん中にしてより豊かな「生活の場」「共育ち」の場となる工夫をし、子どもたちの笑顔のための活動を楽しもうではありませんか！